

前期卒業

前年度に卒業条件を満たすことができずに留年した4年生が、卒業必要単位数を修得し、かつその学期末まで在学期間4年を満たし、第4学年に1年以上在学している場合、前期末での卒業が可能です。

この制度を利用して前期末で卒業することを「前期卒業」といいます。期限までに手続きが行われない場合は、通常の学年末の卒業となります。前期卒業を申請する際は以下の点に注意してください。

- 1) 一度提出した前期卒業願いは取り消しできません。特に就職先の条件が「前期卒業」と「年度末卒業」のどちらを求めているのかをよく確認してください。
- 2) 卒業条件を満たしていない場合、前期卒業は不可になります。必ず余裕をもって履修登録をし、後期履修登録修正期間についても把握しておいてください。

【前期卒業手続き日程（概要）】

期日	内容	
4月	履修登録	前期卒業を考えている場合は余裕を持って履修登録をし、授業にもしっかりと出席してください。
5月	掲示	前期卒業の手続き方法や注意事項などが掲示版等で案内されますので、必ず確認してください。
7月下旬 ～ 8月上旬	前期卒業願提出	前期卒業を希望する場合は、期限までに東海事務室まで前期卒業願を提出してください。
8月	8月集中講義	8月集中講義は前期科目として成績に算入されます。9月集中講義は後期科目として成績に算入されます。履修登録時に必ず確認してください。
9月上旬	成績発表	前期科目の成績評価がこの日から通知されます。『nfu.jp』にアクセスして、卒業の可否を確認してください。 成績調査が必要な場合は、別途期日が設定されるため、掲示を確認してください。
9月末	前期学位記授与式	前期学位記授与式（卒業式）を執り行います。